

イージス・アショアの再調査に係る防衛省による説明

秋田県総務部総務課

1 日 時

令和元年8月28日（水） 14：00～14：15

2 場 所

秋田県庁第一応接室

3 説明者

山野審議官、熊谷東北防衛局長、宮崎施設整備官

4 応対者

堀井副知事、加藤県議会議長 ほか

5 発言内容

（山野審議官）

説明資料に基づき説明

（堀井副知事）

山野審議官、熊谷東北防衛局長においては、秋田に説明に来ていただきましてありがとうございました。知事もかねてから申し上げているとおりでありますけれども、先般5月末の説明資料でデータ等の誤りがありましたことから、今回の新屋演習場への配備については、振出しに戻った、白紙に戻ったということであり、ゼロベースで再検討をしていただく必要があると申し上げてまいりました。昨日の岩屋防衛大臣の記者会見においても、しっかりゼロベースで行うとの御発言もございましたし、今日もまた審議官から、その旨のお話を頂戴いたしました。私どもも、しっかり改めてゼロベースに立って再検討を行っていただきたいということをお願いしたいと思います。

それから、今回の再調査に当たりまして、他の国有地の調査を外部委託で行うということであります。秋田県はもとよりでありますけれども、青森、山形県の各国有地について、公平な観点から、是非ともの確で、かつ、正確な調査を行っていただきたい。それが、住民の理解を得る上でも欠かすことのできない重要な点だと思っておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。

また今、審議官から口頭ではありますけれども、特に防護範囲を的確に保つ上で、

言わば秋田への配備が効果的であるということで、青森、山形県については予備的な位置付けにならざるを得ないとのお話を頂戴したわけではありますが、その防護範囲につきましては軍事機密という点もあろうかと思えますけれども、今後、より明確な説明を私どもにもしていただかなければならないと思っておりますので、なにとぞよろしくお願いいたしたいと思えます。

それから、公告手続等、外部への委託業務を開始されるということでございますが、その途中段階においても、いろいろな情報を的確に私どもに示していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(加藤議長)

ただ今説明をいただきましたが、私ども県議会では、6月議会で内閣総理大臣、防衛大臣に意見書を提出しております。これまで様々なデータの誤り等があり、不安や懸念を抱く県民の声を真摯に受け止め、ゼロベースで再検討・精査した上で、誠意ある対応をするよう議会の総意として求めたところであります。ゼロベースとは、新屋ありきではなく、他の国有地も含めてゼロから調査・検討するというのが基本的な考えであります。そういう意味では、今日御説明の冒頭にありますように、他の国有地を新屋演習場と比較した検討、総合的な評価を行うというのは、若干ニュアンスが違ふというふうに捉えたわけですが、いずれ、ゼロベースでしっかりと精査をしていただき、その内容を議会や県民に説明・報告するよう要望いたします。

(山野審議官)

ただ今、御意見、御要望などを頂きましてありがとうございました。これまでに、5月の説明資料の誤りですとか住民説明会における職員の緊張感を欠いた行為など、極めて不適切な対応があったことについては、防衛省としては、真摯に反省しております。今後も地元の皆様の理解を得られるよう、検討を行い丁寧に御説明するなど、真摯に対応していきたいと考えております。

他の国有地に関する検討につきましては、客観性や専門性の観点から、部外委託により実施することとしておりまして、他の国有地と新屋演習場を公平に比較検討することが重要でございますので、そのように作業してまいりたいと考えているところでございます。

また、部外専門家によります検証の具体的な内容を省内で検討しているところでありますけれども、客観的な第三者の視点で検討の手法や結果等について検証するなど、しっかりとやっていきたいと考えております。

先ほど加藤議長から、イージス・アショアの配備に関しまして、調査等の考え方についてのお話でしたが、私ども防衛省として重く受け止めなければいけないと思えますが、他の国有地に関する検討につきましては、ゼロベースで検討すること

としておりまして、改めて配備候補地となり得るかどうか、総合的に評価をしたいと考えているところでございます。また、その検討結果につきましては、県議会を含め地元の皆様方に丁寧に、正確に御説明させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

本日は、再説明に向けた準備作業等につきまして、御説明させていただいたところでございます。今後、有識者による検証も通じて、説明内容の正確性に万全を期すとともに、各種調査などを踏まえた防衛省の検討結果の妥当性につきまして、より具体的に分かりやすく御説明できるよう、しっかりと準備を進めてまいりたいと考えております。

最後に、現在検討中の令和2年度、来年度の概算要求についてでございます。イージス・アショア関連経費を計上することを考えておりますが、例えば敷地造成といったような特定の配備地を前提とするような事業の経費は計上しないということを御紹介させていただきたいと思います。

本日は、堀井副知事、加藤県会議長をはじめとする皆様の貴重なお時間を頂きまして、誠にありがとうございました。今後とも、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

以 上